

留学生

県内の外国人留学生受入状況

福島県内の外国人留学生数は平成 29 年 11 月現在、591 人である。平成 14 年以降年々増加し、平成 17 年度から平成 19 年までは減少に転じ、平成 20 年度からは再び急激に増加していたが、東日本大震災及び東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響を受け、平成 23 年度から減少が続いていた。しかし、平成 25 年度から増加に転じ、特に平成 28 年度からは急激な増加が見られる。

出身国地域別内訳では、ベトナムからの留学生が全体の約 31%、ネパールからの留学生が全体の約 20%を占め、中国、ミャンマーなどのアジア諸国出身の留学生が全体の 94.8%を占めている。

平成 14 年度と比較すると、ネパール、ベトナムが大幅に増加しているのに対し、中国、マレーシア等は減少傾向にある(表 1)。

大学・短大・高専別内訳でみると、その他の学校以外では、高専の 7 名を除いて全て大学への留学である(表 2)。

経費負担別でみると、約 9 割が私費留学生である(表 3)。

教育機関別では、東日本国際大学が全体の約 3.5 割の留学生を受け入れている(表 4)。

※数値は平成 19 年度までが県国際課調べ(各年 5 月 1 日時点)

平成 20 年度～福島県留学生交流推進会議調べ(平成 24 年度までは 10 月 1 日時点、

平成 25～29 年度は 11 月 1 日時点)

表 1 出身国地域別推移

		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
アジア	中国	193	209	213	197	169	160	231	294	316	233	166	138	93	83	97	106	
	台湾	18	13	12	8	2	0	5	4	8	15	8	10	13	16	17	10	
	韓国	21	12	11	13	13	8	20	34	35	37	29	26	23	20	25	20	
	ネパール							6	8	12	20	16	91	120	121	127	121	
	モンゴル							7	14	11	11	8	10	8	6	7	3	
	マレーシア	9	7	8	8	8	8	10	11	13	7	5	5	4	1	1	4	
	インドネシア	2	1		2	3	3	3	1	3	1	0	2	3	5	4	4	
	ミャンマー	5	12	9	11	13	18	31	50	42	24	18	33	49	68	61	52	
	ベトナム								12	16	13	15	19	23	35	51	153	185
	ラオス															1	1	1
	タイ	4	1	1	0	0	0	4	4	5	5	1	1	2	2	5	9	
	フィリピン	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	1	2	
	スリランカ	8	8	7	5	4	3	6	7	8	9	5	4	5	3	10	14	
	インド																0	0
	バングラデシュ	2	7	10	3	3	2	1	1	1	1	1	0	0	0	6	18	
	ブルネイ																1	0
	キルギス																1	0
	イラン																1	1
	カンボジア															2	2	1
ウズベキスタン	4	4	2	3	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
中南米	ブラジル	3	1	2	1		0	3	2	3	1	0	0	2	0	1	1	
	アメリカ															3	2	
欧州	ドイツ															2	8	
	ロシア															2	2	
	ベラルーシ															1	3	
その他		13	16	19	22	29	1	11	17	17	13	11	15	17	17	8	23	
合計		283	292	295	274	245	204	351	465	488	393	287	360	375	397	537	591	

表 2 大学短大高専別推移

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
大学	272	281	288	265	234	223	338	452	473	392	287	359	371	393	421	391
短大	4	5	1	1		1		0	2	0	0	0	2		0	0
高専	7	6	6	8	11	12	13	13	13	1	0	1	2	4	5	7
その他学校															111	193
合計	283	292	295	274	245	236	351	465	488	393	287	360	375	397	537	591

表3 経費負担別推移

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
国費	11	14	16	14	18	11	21	36	28	12	11	17	18	26	30	30
政府派遣	9	2	3	5	8	9	13	13	14	9	10	5	2	2	5	8
福島県費	4	2	2	1	1	2	3	2	2	0	0	0	2	1	1	1
私費	257	270	274	253	217	212	314	414	444	372	266	338	353	368	501	552
その他	2	4	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	283	292	296	274	245	214	351	465	488	393	287	360	375	397	537	591

表4 大学別受入数

所属大学等		県立医科大学	会津大学	奥羽大学	工学部 日本大学	国際大学 東日本	福島工業高等 専門学校	カレッジ リーグ	F S G 福島大学	合計
地域・国別										
アジア	中国		35		11	7		15	38	106
	台湾	1	5			2		1	1	10
	韓国		1	1		18				20
	ネパール		2			106		13		121
	モンゴル		1			1	1			3
	マレーシア				1		2		1	4
	インドネシア	2					1	1		4
	ミャンマー	1				37		14		52
	ベトナム		18			34		111	22	185
	ラオス						1			1
	タイ		3		2	3	1			9
	フィリピン					1		1		2
	スリランカ		3					11		14
	インド									0
	バングラデシュ	1	2					15		18
	ブルネイ									0
	キルギス									0
	イラン		1							1
	カンボジア						1			1
	ウズベキスタン							1		1
ブータン							8		8	
北米・中南米	ブラジル		1							1
	アメリカ		1						1	2
オセアニア	オーストラリア									0
	フィジー								1	1
欧州	ドイツ		4						4	8
	ハンガリー								4	4
	ロシア		2							2
	キルギスタン		1							1
	ベラルーシ		2						1	3
	フランス		2							2
ルーマニア								2	2	
アフリカ	ナイジェリア		1							1
	カメルーン		1					1		2
	マリ							1		1
	ガーナ									0
	スーダン	1								1
合計		6	86	1	14	209	7	193	75	591

※H28年度版より、F S Gカレッジリーグが加わった

県費留学生制度

県国際課では、本県出身の南米移住者子弟を1年間留学として受け入れている(学費、滞在費は県費負担)。昭和40年度の制度発足し、近年では毎年1名を受け入れている。その総数は平成29年度までで延べ199名に上る。国別ではブラジルが多く、受入機関別では福島大学が多くなっている。(平成23年度～25年度は東日本大震災により休止)

県費留学生受入実績

	S40 -H11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 26	H 27	H 28	H 29	計
ブラジル	116	3	2	3	2	2	1	1	1	2	1	2	2	1	1	1	141
アルゼンチン	14						1			1							16
ペルー	17	2	2	1	1			1	1		1						26
パラグアイ	10		1														11
ボリビア	2	1			1	1											5
計	159	6	5	4	4	3	2	2	2	3	2	2	2	1	1	1	199

県費留学生受入機関

機 関 名	機 関 名	機 関 名	機 関 名
福大人間発達文化学類 (旧教育学部)	46	福島学院大学・短大	2
福大経済経営学類 (旧経済学部)	31	福島女子短大	11
福大行政政策学類 (旧行政社会学部)	2	桜の聖母短大	8
県立医科大学・大学院	19	奥羽大学	9
会津大学	6	郡山女子短大	3
会津大学短大部	9	いわき明星大	4
日大工学部	23	郡山女子大	1
		いわき短大	1
		S40～H29 計	200

※農業(園芸)試験場と養鶏試験場の2か所で受け入れした者が1名いるため、留学生受入実績とは一致しない
(国際課調べ)

外国人留学生支援策

(1) 県の支援事業

県国際課では、県内の留学生に対し、県内文化施設の使用料等を免除する制度を各施設設置者の協力により設けている(外国人留学生文化施設等無料観覧制度)。協力施設は公共施設が43か所、民間施設が13か所である。留学生は県に観覧証を申請し、発行を受ければ在学中につき利用できる。

(2) 市町村等の留学生支援事業

【福島市】

市内在住の、市内の大学(短期大学及び大学院を含む)及び専修学校の専門課程に在籍する外国人留学生に対し、国民健康保険税相当額の全部又は一部を予算の範囲内で補助するもの。
(問合せ先) 福島市定住交流課

Tel 024-525-3739 / e-mail teijyuu@mail.city.fukushima.fukushima.jp

【いわき市】

市内に居住し、学校教育法に規定する市内の大学(大学院及び短期大学を含む)又は高等専門学校に在学している外国人留学生に対して国民健康保険税の基礎課税額の全部又は一部を補助するもの。

(問合せ先) いわき市観光交流室観光交流課

Tel 0246-22-1279 / e-mail kankokoryu@city.iwaki.fukushima.jp

【会津若松市】

会津若松市国際交流協会では国際交流協会による相談支援と日本語会話支援を実施している。

(問合せ先) 会津若松市企画調整課

Tel 0242-39-1201 / e-mail kikaku@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

【会津坂下町】

会津坂下町国際交流協会の事業の一環として、日本語会話教室を実施している。

(問合せ先) 会津坂下町国際交流協会

Tel 0242-84-2135

(3) 各大学の支援策

県内の各大学では、授業料の減免、奨学金の支給、学生寮等への入居、民間アパート・下宿の紹介、医療費の補助、留学生後援会による組織活動、外国人留学生特別選抜制度の導入などの留学生支援策を実施している。

県内各大学等における支援内容

学校名	各学校における支援内容	
福島大学 http://kokusai.adb.fukushima-u.ac.jp/	授業料	・授業料免除規定により全額又は一部免除制度有り
	奨学金	・文部科学省私費外国人留学生学習奨励費（学類生月額 48,000 円 大学院生月額 65,000 円） ・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会奨学金（学類生月額 100,000 円 大学院生月額 140,000 円） ・公益財団法人平和中島財団外国人留学生奨学金（学類生月額 100,000 円 大学院生月額 100,000 円） ・公益財団法人安田奨学財団奨学金（月額 100,000 円） ・公益財団法人日本国際教育支援協会一般奨学金（月額 30,000 円） ・公益財団法人日本国際教育支援協会日能奨学金（月額 50,000 円） ・公益財団法人佐川留学生奨学財団奨学金（月額 100,000 円） ・公益財団法人佐藤陽国際奨学財団奨学金（学類生月額 120,000 円、大学院生月額 180,000 円） ・公益財団法人マブチ国際育英財団奨学金（大学院生月額 100,000 円） ・公益財団法人ウシオ財団奨学金（月額 120,000 円） ・彌満和奨学会奨学金（月額 30,000 円） ・ふくしま未来研究会奨学金（月額 50,000 円） ・福島大学外国人留学生後援会（月額 10,000 円）
	住宅	・福島大学国際交流会館、福島大学学生寮への入居
	その他	・福島大学外国人留学生後援会支援事業 ・生活資金無利子貸付（上限 50,000 円、10 か月以内返済） ・留学生住宅総合補助の加入金補助
	県立医科大学 http://www.fmu.ac.jp/	授業料
	奨学金	
	住宅	
	その他	

会津大学 http://www.u-aizu.ac.jp/	授業料	・海外大学との協定に基づく外国人留学生受け入れの場合、授業料免除措置が適用されるものがある。また、一般的な授業料減免制度へも申請可能であり、基準・要件を満たした場合は減免が適用される。（但し、外国人留学生のみを対象とした特別措置等は実施していない。）
	奨学金	・本学独自の奨学金制度「デュアルディグリープログラム奨学金」の他、外部団体による奨学金制度の案内、申請支援を随時実施している。加えて会津大学外国人留学生後援会（SAISUA）による給付型奨学金制度あり。
	住宅	・私費外国人留学生は、大学敷地内にある学生寮への入居が可能（要申請・選考有）。外国人留学生の場合、希望に応じて入居期間を延長することも可能。
	その他	・留学生支援を担当する各部門・職員（学生課、国際戦略室、外国人教員等相談員）による学内連携支援体制により、住居手続（外部アパート物件の紹介、入居手続等）、官公庁手続（住民登録、健康保険手続等）、日本語研修、地域交流活動の案内等、日常生活全般にわたり、ケースに応じた支援を実施している。
会津大学短期大学部 http://www.jc.u-aizu.ac.jp/	授業料	
	奨学金	
	住宅	
	その他	
郡山女子大学 http://www.koriyama-kgc.ac.jp/	授業料	
	奨学金	
	住宅	
	その他	
郡山女子短期大学 http://www.koriyama-kgc.ac.jp/	授業料	
	奨学金	
	住宅	
	その他	
奥羽大学 http://www.ohu-u.ac.jp/	授業料	・私費外国人留学生授業料減免
	奨学金	
	住宅	
	その他	
日本大学工学部 http://www.ce.nihon-u.ac.jp/	授業料	・日本大学私費外国人留学生授業料減免
	奨学金	・日本大学工学部奨学金（第3種）

	住宅	・希望者に対し下宿・アパートの紹介	
	その他		
いわき明星大学 http://www.iwakimu.ac.jp/	授業料	・授業料減免制度あり	
	奨学金	・独自の奨学金制度なし	
	住宅		
	その他		
東日本国際大学 http://www.shk-ac.jp/	学部		
	授業料	・50%免除	
	奨学金	・私費外国留学生学習奨励費 ・J E E S 奨学金 ・財団法人ロータリー米山記念奨学金 ・平和中島財団外国人留学生奨学金	
	住宅	・学生マンション入居補助（家賃 30%補助）	
	その他		
	留学生別科		
	授業料	・50%免除	
	奨学金	・日本学生支援機構学習奨励費	
	住宅	・学生マンション入居補助（家賃 30%補助）	
	その他		
	いわき短期大学 http://www.shk-ac.jp/ijc/	授業料	・50%減免
		奨学金	・日本学生支援機構学習奨励費
住宅		・学生マンション（家賃 30%補助）	
その他			
福島学院大学 http://www.fukushima-college.ac.jp/	授業料	・開発途上国からの留学生の場合、学費の一部又は全額免除の場合あり。	
	奨学金	・成績優秀な者若しくは本学が必要と認めた者については、奨学金を付与する場合あり。	
	住宅		
	その他		

福島学院大学短期大学部 http://www.fukushima-college.ac.jp/ —	授業料	・開発途上国からの留学生の場合、学費の一部又は全額免除の場合あり。
	奨学金	・成績優秀な者若しくは本学が必要と認めた者については、奨学金を付与する場合あり。
	住宅	
	その他	
桜の聖母短期大学 http://www.sakuranoseibo.jp/ —	授業料	・桜の聖母短期大学私費外国人留学生の授業料減免規程
	奨学金	
	住宅	
	その他	
福島工業高等専門学校 http://www.fukushima-nct.ac.jp/ —	授業料	・独立行政法人国立高等専門学校機構による私費留学生に対する授業料免除制度あり。
	奨学金	・文部科学省外国人留学生学習奨励費へ応募可能。
	住宅	・原則、学寮に入寮。
	その他	・日本語等の特設科目の設置、英語Ⅲ等の科目の免除。

(4) 留学生交流推進会議

留学生の円滑な受入れの促進と交流活動の推進を図り、地域住民の国際理解に寄与するため、県内高等教育機関、国及び地方公共団体、経済団体、国際交流関係団体の長又は代表者が福島県留学生交流推進会議を組織している。

○ 事務局

福島大学総務課国際交流センター

960-1296 福島市金谷川1番地 TEL024-503-3067 FAX024-503-3068

○ 構成員

県内の大学、短大、高専、入管郡山出張所、福島県、県教委、福島市、郡山市、いわき市、会津若松市、市長会、町村会、県国際交流協会、商議所連合会、商工会連合会、経営者協会連合会、経済同友会、JC 福島ブロック協議会、LC、RC、国際ソロプチミスト福島、FSG カレッジリーグ

海外への留学

県立高校生徒の海外への留学者数は、平成29年4月末現在で2名（須賀川桐陽1、会津学鳳1）となっている。

なお、平成29年4月現在、県立高校が受け入れている留学生は2名（あさか開成2）である。

（高校教育課調べ）

私立高校生徒の海外への留学者数については、平成30年2月末現在で3名（日本大学東北1、会津若松ザベリオ学園1、東日本国際大学附属昌平1）となっている。

また、私立高校が受け入れている留学生数は、平成30年2月末現在で5名（福島東稜3、会津北嶺1、会津若松ザベリオ学園1）である。

（私学・法人課調べ）